

その3 建設事業の推進



新年度においてもいままでと同じように教育の振興には大きな重点を置いております。

まず、新しい事業としては、4月1日から正式に発足した「南中学校」(二井田、真中の統合中学校名)の建設が本組みとなりましたので、これに伴う予算が計上されました。

この南中学校の建設費は総額8,940万円になっておりますが校舎関係はことしから3カ年計画で鉄筋コンクリート3階建て、(普通教室11, 特別教室10)の近代的校舎を建築されることになっていきますし、4年目には、200坪の屋内体操場を建てることも計画されております。

そのほかに、野球場、陸上競技場、バレーコート、テニスコートもつくられることになっており、これが完成されると大館市では最も設備が充実された中学校ができることになりその完成が期待されています。そこで新年度は、さしあたり校舎233坪の土地を購入するための費用として2,1137万円を予算措置し、さっそく工事にとりかかることになりました。

一中、成章中、雪沢中などの特別教室の設備の充実などをはかるためには総額805万円を計上していますし、その他、社会教育の振興対策としてもかなりの予算を計上し教育全体の向上をはかろうとしています。

その5 財産造成事業



まず、道路維持補修対策については、重点目標の「その1、環境の整備」に記した測溝の整備問題にも関連してきますので、このことについては省略しますが、市の単独事業としては、長い間市民の皆さんにご迷惑をおかけした風呂屋町線を今年度中に補装するため400万円計上しております。

また、その他の市道についても630万円という多額の予算を計上して市道の維持補修に力点を置くことにしております。

さらに、道路の補修にはかせない土木機械としてはショーベルトーザ1台を450万円で購入して、道路補修のための機動力の充実をはかろうとしましたので市民の苦情として一番多かった道路問題は解消される日も近いと思います。

橋については、十二所地区の中岱橋架替費として144万円、その他の橋の補修としては190万円をそれぞれ計上しております。

次に都市計画事業としては、国鉄大館駅～東大館駅線街路事業として260万円を計上して、道路輸送の確保と街の美観をはかることにしています。

また、火災復興土地区画整理費としては781万円を計上しており、この問題については、早期完了をめざしています。

住宅対策としては、第1種公営住宅20戸新築するために1,348万円を計上し、住宅難のかんわを計ろうとしています。

その4 教育の振興



普通財産造成事業としては、市有林造成費として395万円を予算計上し、財政調整基金としては、真中地区に407万円を投じて40,000本の植林を実施することにしました。

以上が新年度における市政の大きな柱としての大体のあらましですが、このほかの関係で主な事業をとり上げてみると◎今年行われる国勢調査には137万円◎参議院議員の選挙費として264万円◎失業対策費としては、吸収人員を15,000人とし、さらに機動力を強化するため、マイクロバス1台を購入するため130万円を計上しております。

◎災害復旧事業関係では、松木橋継続分531万円、下町橋架替費として1,503万円をそれぞれ計上しております。

ことしの予算は例年がない、都市建設に意欲をもやしたところの予算内容であり、建設第2段階に入った年にふさわしい新しい事業が盛りたくさん含まれております。

新年度の一般会計および特別会計の総額

一般会計	855,493千円	温泉開発	3,893千円
特別会計		桂城土地区画	160千円
国民健康保険	114,315千円	用水	41,617千円
公益質屋	11,895千円	上水道事業会計	収益的収入 55,036千円
			収益的支出 50,378千円